（第二類）（御許可一年五月九日第三種郵便物認可）　昭和十八年四月二十六日（月曜日）　臺灣日日新報　第一万五千四百九十七號　（一）

臺灣新民幸

十四頁　四日

聖戰第四年

開戰

敵重砲陣地爆破

寡兵敵陣地深く挺身

第四軍主力も潰滅的打撃

敵の歩哨が眞上に

ジャングル内の進撃

敵の砲兵陣地爆破

四、敵の砲兵陣地爆破

空襲を吊した鐵條網

甸匈して鐵條網に

戰意喪失、投降續出

第四軍戰勢一段落

第廿四軍司令官

天皇陛下に同光大勳章

國民政府より贈進

御飯を見る度に五人

天皇陛下に同光大勳章

國民政府より贈進

褚特派大使訪日

動章を捧持ふ宮中に參入

青木、ヒブン會談

共同の方途意見全く一致

泰外相と懇談

第廿四軍司令官

第四十軍主力

第四十軍の總兵力は約三萬

我包圍部隊の好餌

重圍下の敵第廿四集團軍

第二十四師長

午穂提も投降

機械工作圖の讀方

大日本工業學會編　B五判一七五頁　圖二五〇

本書は單なる製圖の本ではない。機械工が現場で提示された圖面を正しく理解し得る機讀知識をわかり易く解說してゐる。且工作法、機構學の知識も修得出來る樣に書かれてゐるから絶好の機械工現場手引である。

機械工製圖基礎知識　B六判一〇六頁　送八〇
機械工作作業心得　A六判一〇六頁　送一〇
機械工作手帳　ポケット判　送一〇〇
電氣鎔接及電氣爐　A五判一四五頁　送一二〇

東京市神田區一ツ橋通町　大日本工業學會（振替東京一七〇九〇）

ヴァン・デン・ボッシュ著　大江專一譯　新刊發賣

東印度

本書は蘭領東印度の行政・社會・經濟・宗教・オランダの植民政策・教育・商業・日本との關係等その他既存の全制度について凡ゆる資料に亙り凡ゆる問題に觸れて科學的に詳述し論評した絶對に他の追隨を許さぬ權威書。

4・50　4・20　送料

改造社

新刊　株式會社　今日の問題社

賴山陽の人と思想

渡邊崋山の人と思想

田村榮太郎著　B6判二〇〇頁　定價二・〇〇　〒一五

水戸學講話

高須芳次郎著　B6判二〇〇頁　定價二・五〇　〒一五

支那の現實と理想

米内山庸夫著　B6判二〇〇頁　定價二・八〇　〒一五

印度の歷史と社會

ホワダースターネス著　B6判二〇〇頁　定價二・〇〇　〒一五

近世歐洲發達史

ピンソン著　B6判四〇〇頁　定價二・五〇　〒一五

全三卷完結

東京市芝區田村町四丁目八

相撲と野球

（四月十五日）（特級號）臺灣圖書科　東京　本間　博文館

（夏場所號）夏場所大相撲を迎へて（日曜）　夏場所開催前夜發賣　八頁

相撲漫談

橫綱双葉山論

橫山健堂

夏場所相撲五十番

夏場所相撲展望

相撲漫談

夏場所相撲展望

十八年

相撲と野球　四月十五日　特級號　臺灣圖書科　東京　本間　博文館

夏場所號　夏場所大相撲を迎へて　日曜　夏場所開催前夜發賣　八頁

相撲漫談　谷萩那華雄

◎現代力士に就いて　◎四橫綱のことども　◎新橫綱雙葉山論　橫山健堂

橫綱雙葉山論　橫山健堂

◎新橫綱は東軍か西軍か　◎番場所熱戰回顧錄　◎新十兩陣の精銳論

夏場所相撲五十番　增島信吉

決相撲勘考と相撲に關する新たなる提言　古笠置山勝一
戰撲不合理論　大井廣介
相撲の生家を訪ねて　近世相撲部屋興隆史　朝稽古　相撲の道

東西幕內十兩力士略歷表　新番附はどうなるか

最新部屋別力士一覽表

第廿四軍司令官

第四十軍主力

第四十軍の總兵力は約三萬

我包圍部隊の好餌

重圍下の敵第廿四集團軍

第二十四師長

午穂提も投降

機械工作圖の讀方

東印度

褚特派大使訪日

動章を捧持ふ宮中に參入

天皇陛下に同光大勳章

國民政府より贈進

青木、ヒブン會談

共同の方途意見全く一致

泰外相と懇談

戰意喪失、投降續出

第四軍戰勢一段落

社說

糖業南進と結聯の新使命
產業支部の擴充強化に期待

大東亞共榮圈の確立に邁進する日本産業界の新體制は、いよいよ本格的に動き出した。

泰國は更生す
國內經濟の全部門に亙り 共榮圈的性格顯現

峻險マユ縱斷百里
印緬國境 英印軍擊滅戰記

日本との紐帶堅く 泰國經濟、自主獨往

純忠の神前對面
傷痍の身を支援 明朗な敢闘
傷痍軍人主婦の懇談會

貯蓄は銃後の彈丸
第一生命保險相互會社
東京・日比谷

今日の滿洲 大東亞戰史
優秀強靱なる ◎小包用 玉糸 ◎藤井の竹莖ロープ
藤井獨特の新式機械設置
大益生産在庫豊富

純忠の神前對面
有難さに只〻涙
臺灣遺族の感激記錄

【東京廿五日發】戰死の榮譽の下に靖國の神と祀られた陸軍二等兵上野三五郎の父上野文太郎氏（愛知縣）は廿五日午後一時九分着の列車で上京、靖國神社に參拜、次いで午後三時から靖國神社參集所で行はれた臺灣出身戰死者の遺族の感激的な對面に參列した

【東京廿五日發】戰死の榮譽の下に靖國の神と祀られた陸軍二等兵上野三五郎の父上野文太郎氏（愛知縣）は廿五日午後一時九分着の列車で上京、靖國神社に參拜、次いで午後三時から靖國神社參集所で行はれた臺灣出身戰死者の遺族の感激的な對面に參列した

故陸軍二等兵上野三五郎君の父
上野文太郎氏（愛知縣）

故陸軍伍長西田正一君の父
西田ワノさん（愛北市）

故陸軍伍長小林城子君の母
小林城子さん（愛北市）

故陸軍軍屬栗原博次君（愛東市）

故陸軍軍屬富島俊子さん（愛西市）

故陸軍軍屬志賀信子さん（愛中市）

故陸軍軍屬永島文太郎氏（愛北市）

第二群感激の參拜
樂しい觀劇の日送る

兄弟揃つて武勳競ふ
軍國の家寺澤挺身隊長

肉彈攻撃寺澤挺身隊
家庭訪問記

感激の對面をする上野三五郎君の父文太郎氏（右）と靖國神社參集所で

傷痍の身を支援
明朗な敢闘
傷痍軍人主婦の懇談會

生産力も人的にも
長期戰我に有利
必死必生　谷萩報道部長口演

谷萩報道部長

生存のための戰爭
――日米決戰の意義は

優れたる戰術を以て
軍國婆さんで
母も有名

温順素直な加藤伍長

島都の勤兒を招待
樂しいひとときを送る

可愛い踊で白衣勇士を慰問

重大なものは船舶
戰力增强の源泉、國債消化

三、〇〇〇部隊の殊勳

増産でも殊勳者
磐の家、高橋兵長實家

武勳競ふ古田上等兵兄弟

白衣の勇士を魚で慰問
大漁の釣友會

"護れ兵の家"と絶叫
昨夜の講演會盛況

奉公防空群聯合會結成
古亭町第二區

第九回決算報告

臺陽の映画
臺陽汽船商事

今日の映画劇
大世界　台劇　新世界　芳乃館　芳明館　龍山劇場　太平館　第二世界　基隆世界　基隆合同興行会社

臺陽汽船商事株式會社
第一生命保險相互會社

有難き御下問拝し 感奮興起奉公の誠

歸任の藤村新竹州知事謹話

【新竹特電】今般の御前会議に於ける御下問に際し拙劣の答弁に終始したる事誠に恐懼に堪へず、謹んで御下問の趣旨を奉戴し奉公の誠を致すべく一層の努力を傾倒する覚悟であります、州下の地下資源の開発に就いて申上げましたが、戦力の増強からも生産増強は一日もゆるがせに出来ませんので今後一層開発に努力する考へであります

【藤村知事謹話】

有難き御下問を拝し恐懼感激に堪へません、州下の各般の施策に就いては何れも御下問の趣旨に副ひ奉る様一層の努力を傾倒する考へであります

本島出身陸の荒鷲 米英撃滅先陣に天翔る

ひさご、男と生れ桑に弧矢一筋で兵隊さんと共に死んで呉に還れぬ覚悟で居ります、山地に居てマラリアなんかで犬死するより同じ死ぬなら敵の第一線に立つて死にたいと思ひます、どうぞ私を一日も早く出征させて下さいませ

【新竹特電】新竹州出身陸軍航空兵伍長○○○○君（二十）は今回ソロモンの大空戦に於ける敵の米英撃滅の先陣を切る殊勲の数機撃墜の武勲が認められ、大本営陸軍部の初の感状授与の栄に浴し、去る十日州庁に於ける州知事の伝達式に臨んだ、○○君の両親○○○○